

● 矢沢地区 令和4年度市政懇談会 開催

今年度の市政懇談会は、9月27日矢沢振興センターで上田市長をはじめ10名の幹部職員を迎えて開催されました。多田章矢沢地域振興会理事の司会で、地区から39名が出席して懇談が進められました。

今回矢沢地区から提出した「郷土芸能のあり方について」は胡四王神楽代表の中島忠成さんが胡四王神楽の活動状況等を説明しながら更なる支援を訴えました。「農業問題について」は矢沢地域振興会理事の川村憲一行政区長さんが高松第三行政区における農業・農家及び集落の状況と課題について説明し、どの集落にも今抱える共通する問題を指摘し、それぞれ回答を頂きました。その他に関連も含め3名の方が意見を述べられました。なお、本日の懇談会の詳細については、後日まとまり次第、市のホームページや矢沢振興センターで公表されます。



提言者の中島忠成さん



川村憲一さん

交通安全協会矢沢分会（大森松司分会長）、矢沢交通安全母の会（高橋純子会長）、老人クラブシルバー部会（齊藤建一会長）は、秋の交通安全運動（9月21日～30日）中の9月29日（木）に、交通事故防止街頭啓発運動を行いました。この運動は、地域住民一人ひとりが交通ルールを守り、悲惨な交通事故を無くし、安全で安心な社会の実現を図ることを目的としており、主催者の前記三者のほか、矢沢小学校4年生70名、矢沢中学校生徒会執行部、交通安全対策協議会、交通指導員、花巻警察署の約130名が参加しました。この日は青空が広がる汗ばむ中、午後3時から約一時間にわたり、国道4号線花巻東バイパス矢沢交差点付近で、新しく用意した交通安全事故防止啓発ボード、のぼり旗、交通安全横断幕等を掲出して通行車両等に交通事故防止を呼びかけました。その中で、矢沢の子ども達は地域の皆さんと共に元気に街頭啓発運動を行っていました。

★ 第13回矢沢伝統芸能伝承大会 11月20日（日）午後開催予定

3年振りとなる伝承大会開催に向け、10月14日に実行委員会を開催します。11月20日（日）開催の大会成功に向けて意思統一を図り、準備を本格化したいと思っています。コロナ禍の中であり、いつもとは違った形での開催とはなりますが、地域の皆様の変わらぬご支援をお願い致します。

なお、伝承大会の概要は11月1日号で詳しくお知らせいたします。



◎ 交通事故撲滅を目指して 街頭啓発運動展開 ◎



大森松司
分会長



伊藤理恵
市民生活部長



谷村晴子
矢小校長先生



● 「新花巻図書館整備検討状況」に関する 説明会を開催します！

日時 令和4年10月26日(水)
18時30分～(90分程度)
会場 矢沢振興センター 大広間

花巻市では、新しい図書館の整備に向けて、専門的な立場から計画の試案を検討する会議（新花巻図書館整備基本計画試案検討会議）を開催し、図書館のサービスや機能について検討を行ったうえで、それらのサービスや機能を活かせるのはどこか、建設場所の検討を行いました。今回の説明会では、これまでのサービスや機能などの検討状況及び図書館の建設候補地についてご説明し、皆さまのご意見を伺いたいと考えています。

どうぞお気軽にご参加ください！



● JR 花巻駅橋上化等の概要説明会開催

花巻市の都市機能整備室では、9月28日矢沢振興センターにおいて「JR 花巻駅橋上化・東西自由通路整備事業の概要」についての地域説明会を行いました。市側から松田副市長、鈴木建設部長をはじめ5名の職員、地域からは18名が参加しました。配布資料とパワーポイントを用いて背景、経過及び現在検討されている「半橋上化」、「橋上化」等について担当者から詳しく説明がありました。最後に参加者はアンケートを提出して終了しました。



【事務局員のつぶやき】（今年も稲刈り作業が進んでいます?!）

夏の不順な天候で難航が予想された中、稲刈り作業が進む爽やかな秋。日本の主食のコメに関する全国の動向を農林水産省統計情報部の統計資料から見てみました。作付面積（右上図）は昭和43、44年の317万haをピークに昭和45年以降の減反政策導入に伴い右肩下がり、令和3年は140万haと半分以下の作付け。収量（右中図）は昭和42年の1,426万tをピークに令和3年は756万tと最盛期の半分ほどになっています。単位収量（kg/10a・右下図）は天候や品種、技術など様々な要因があり、一概に論ずることはできませんが、昭和59年に10a当たり500kgの大台に乗せてからは大きな伸びはありません。平成以降、500kgを割ったのは5回で、大冷害の平成5年は367kg、平成15年の469kgを最後に冷害という言葉は死語になりつつありますが油断大敵。主食のお米一人当たりの年間消費量（左下図）はご覧のように昭和35年の115kgが令和2年には51kgと半分以下になっています。何が無くてもご飯を！をお願いします。

